

もっと、あなたらしく。
ずっと、美しく。

——ハウジングマイスターとつくる——
大和ハウスの注文住宅



ハウジングマイスターが語る、
「設計への想い」。



ハウジングマイスター
藤井 麻貴子
一級建築士
インテリアプランナー

お客さまに寄り添って。
敷地と向き合って。

お客さまの理想を叶えるだけではなく、お客さまの期待を超えていく。そんな家づくりを実現するために、大和ハウスではより優れた設計力やコミュニケーション力などを有する「ハウジングマイスター」というトップデザイナーが在籍している。今回はハウジングマイスターとして豊富な実績を持つ藤井に、設計への想いについて聞いた。

家づくりの最初のステップで大切なこと。それは「お客さまに寄り添い、敷地と向き合う姿勢」と藤井は語る。「世間話」をするような感覚でお客さまと対話を重ねて、暮らし方や趣味嗜好、隠れたニーズを汲み取っていきます。同時に「敷地の読み解き」も欠かせません。周辺環境や高低差、日照や風通しなどを把握したうえで、お客さまの理想と敷地の特性を結びつけながら、暮らしを豊かにする住まいを描きます」

美しさと豊かさを
追求めて。

設計にあたって藤井が常に意識しているのは、「自然との調和」と「内外のつながり」だ。

「外観は外構の植栽と一体になった美しさを大切にしています。壁面に樹々の陰影が描かれ、時とともに移ろう。そして、街と行き交う人に潤いをもたらす。そんな表情を生み出したいからです」

一方で空間は構造の強さを活かした大開口や、天井まで窓になるグランフルサッシを通して、伸びやかな

開放感と庭と溶け合うような心地よさを演出。さらに、深い軒や屋内とつながるテラスによって「外でもあり、内でもある曖昧な空間」をつくり出す。

「外からの視線を感じることなく、家の中で光、緑、風にいつも包まれます。また、天井高2m72cm※を基準に、1階の床を掘り下げたり、天井の一部を高くしたりすることも大和ハウスでは可能です。自然の潤いと立体的な広がりがある。そんな豊かな空間をご提案しています」

日々の暮らしやすさも。
これからの心地よさも。

お客さまの暮らし方にあった生活動線や収納計画を考え抜くこともハウジングマイスターには求められます。「家事の負担を減らせる家は、自分の時間や家族との時間が増える家だと思います。だからこそ、住まう方一人ひとりが「楽に暮らせる家づくり」を日々追求しています」

一方で、昨今の気温上昇や夏の長期化も踏まえて、藤井は大和ハウスの優れた断熱性を活かしながら、深い軒を積極的に取り入れている。「直射日光を巧みに遮りながら、心地よい光を住まいに届けてくれます。さらに視線が外へと抜けるので、実面積以上の広がり」を実感できるし、印象的な外観美を演出できます」

もっと住まう人らしく、ずっと美しい住まいを。そのために藤井はハウジングマイスターとして、細部までこだわり抜いた最高のプランを今日も描いている。

※天井高は2m40cm、2m72cm、さらに2m80cm、3m8cmと3m16cm(1階のみ)の仕様を選ぶことができます。天井高については間取りや建設地、建築基準法(法令)等により、対応できない場合があります。

“理想”を描きあげる、
ハウジングマイスター



“夢”が広がる、
豊富な建築事例



Top Designer
by ダイワハウス
(Instagram)

